消防団

消防団のあゆみ

明治19年	消防組の創設。 各所に消防組創設とあるも詳細不明。
27年 6月	公設消防の発足。 県令第38号により公設消防として掛川町は300名６ヶ部の消防組を創設する。
34年 3月	消防組を400名８ヶ部に改編する。 各部に腕用ポンプを配属する。
大正 9年 7月	組頭直属として、40名（各部より５名づつを選抜）、手引きガソリンポンプ（森田式14馬力）１台の編成を新設する。
3年 1月	消防組を240名、３ヶ部に改編する。 手引きガソリンポンプ（ノーザン式20馬力）２台を購入し、各部にガソリンポンプ１台と腕用ポンプ１台を配属。
14年10月	大池村と合併（８月20日）し、328名４ヶ部の編成となる。
昭和 4年 6月	ポンプ自動車（グラハムオータラス）１台を購入、第２部に配属し掛川警察署構内に置く。
14年 4月	勅令第20号（１月24日）により警防団令交付、消防組を廃して警防団となる。 ４ヶ分団となる。
18年 4月	南郷村と合併し５ヶ分団となる。
22年 4月	勅令第185号により警防団を廃して消防団となる。
12月	法律第226号により消防組織法制定交付される。
25年10月	上内田村と合併し６ヶ分団となる。
26年 4月	西山口、粟本、西南郷村と合併し８ヶ分団となる。
27年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(いすず3,000 ﾘｯﾄﾙ)を購入し、速消車として初期消火体制の強化を図る。
28年	消防ポンプ自動車(ダッジショート)１台を購入し、第１分団及び第２分団に配属する。
29年 3月	掛川市となる。東山口村、曽我村と合併し市制を施行。10ヶ分団となる。
昭和30年 4月	東山村、日坂村と合併し12ヶ分団となる。
32年 3月	北小笠村、原谷村、原田村、原泉村（一部）と合併し、団員数1,297名18ヶ分団となる。
35年10月	三笠村と合併し、２ヶ分団230名の増員となり、1,527名、20ヶ分団となる。
36年 4月	消防団員数1,000名20ヶ分団に改編。 保有消防車 水槽付消防ポンプ自動車　１台 普通消防ポンプ自動車　11台 三輪消防ポンプ自動車　11台
39年10月	消防団整備計画を立案する。 団員数600名、６ヶ分団15部制を骨子として条例化する。 （但しこの時、実員は875名）

40年 4月	団員数711名、16ヶ分団に改編する。 （13ヶ分団と臨時３ヶ分団）臨時14分団（粟本） 臨時15分団（西郷）、臨時16分団（倉真）
41年 4月	団員数706名、14ヶ分団に改編する。 （臨時14、15、16分団を第14分団第１班、第２班、第３班と呼称する。）
43年 4月	団員数600名、14ヶ分団に改編する。
45年 4月	５方面体制を廃し、団員数600名６ヶ分団17部制に改編する。 （第１方面隊を１分団及び２分団に、第２、第３、第４、第５方面隊をそれぞれ３、４、５、６分団に改称）
47年 4月	団員数500名、６ヶ分団20部制とする。
51年 7月	消防団家族慰安会を実施する。 「こまどり姉妹ショー」　県立掛川西高等学校講堂
52年 4月	組織を一部改変し、１分団を４ヶ部、２分団を３ヶ部とする。
53年 3月	消防庁長官表彰受賞。（掛川市消防本部、掛川市消防団）
58年 9月	ドアー付き消防車（ＣＤ－１型）を初めて購入し、第６分団第４部に配属する。
59年 9月	掛川ライオンズクラブより指令車が寄贈され、団本部に配属する。
昭和62年 7月	第１回消防団ファミリーの集いを実施する。 「川中美幸ショー」　掛川市生涯学習センター
平成 2年11月	各部の団員定員の見直しを始める。
12月	第２回消防団ファミリーの集いを実施する。 「小林幸子ショー」　掛川市生涯学習センター消防団
3年 7月	操法査閲大会でファミリーコーナーを行う。
4年 5月	活性化検討委員会、編成運営検討委員会を設置する
5年 8月	静岡県消防団査閲大会において、訓練礼式の部で準優勝する。
6年11月	第３回消防団ファミリーの集いを実施する。「角川博＆神野美伽ショー」 掛川市生涯学習センター
9月	掛川ライオンズクラブより指令車が寄贈され、団本部に配属する。
7年11月	女性消防団員確保推進委員会発足
9年 4月	女性消防団員26名で発足する。
8月	静岡県消防査閲大会へポンプ車操法の部で出場する。
10月	第４回消防団ファミリーの集いを実施する。 「ものまねショー」　ヤマハリゾートつま恋
10年 9月	第21回静岡県総合防災訓練が掛川市を会場として実施される。
11月	静岡県消防大会が掛川市を会場として実施される。
13年 1月	第５回消防団ファミリーの集いを実施する。 「ミスターマリックショー」　掛川市生涯学習センター

8月	静岡県消防団査閲大会において、小型ポンプ操法の部で初優勝する。
14年 6月	消防団活性化支援対策委員会を設置する。
10月	消防団活性化支援対策委員会での検討事項について提言書を市長に提出する。
15年 4月	６分団20部制から地域名称等を用いた20分団制に改編する。
7月	掛川市、大東町、大須賀町の合併に伴う三団調整会議始まる。
平成15年12月	第６回消防団ファミリーの集いを実施する。 「長山洋子オンステージ」　掛川市生涯学習センター
16年 1月	掛川市･大東町･大須賀町合併協議会において、消防団の取り扱いの調整方針について確認された。
17年 3月	掛川市の閉市に伴い掛川市消防団を閉団する。
4月	一市二町(旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町)の合併に伴い、掛川市消防団が誕生する。 掛川市消防団概要 旧掛川市　６方面20分団　472人 消防ポンプ自動車19台 水槽付消防ポンプ自動車1台 旧大東町　２方面６分団　159人 消防ポンプ自動車６台 旧大須賀町　２方面４分団　150人 消防ポンプ自動車４台
8月	裾野市運動公園において開催された第3回静岡県消防操法大会に出場し、小型ポンプ操法の部で準優勝する。
18年 1月	静岡県消防協会総裁表彰を受ける。
2月	日本消防協会定例表彰優良消防団表彰を受ける。
19年 8月	草薙総合運動場において開催された第31回静岡県消防操法大会に出場し、ポンプ車操法の部で準優勝する。
10月	横浜市消防訓練センターにおいて開催された第18回全国女性消防操法大会に出場する。
20年 2月	第１回 掛川市消防団員ファミリーの集いを実施する。 「瀬川瑛子歌謡ショー」　掛川市生涯学習センター
23年 4月	掛川市消防団として初めて東山分団に４名の機能別消防団員を採用する。
25年 9月	静岡県消防学校において開催された第34回静岡県消防操法大会に出場し、ポンプ車操法の部で準優勝する。
26年 4月	掛川分団に５名の機能別消防団員を採用する。
27年 2月	西郷分団に「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」が総務省消防庁より貸与される。
平成27年10月	全30分団にチェーンソー・エンジンカッターを配備する。
28年 9月	静岡県総合防災訓練を掛川市で実施する。
10月	平成28年度静岡県消防大会を掛川市学習センターで実施する。
11月	上内田・駅南分団の消防ポンプ自動車の貸与・配属式を実施する。

29年 3月	掛川市消防本部・掛川市消防団が竿頭綬を受章する。 大須賀第二分団消防センター落成式を実施する。
9月	安倍川左岸与一ヘリポートで開催された第36回静岡県消防操法大会に出場し、小型ポンプ操法の部で第３位の成績を収める。
30年 3月	倉真分団の消防ポンプ自動車の貸与・配属式を実施する。
12月	日本消防協会から防災活動車(団本部３)が交付される。 桜木西分団消防センター落成式を実施する。
31年 3月	大須賀第四分団の消防ポンプ自動車の貸与・配属式を実施する。
令和元年 4月	団員定数の８０３名で活動を開始する。
12月	桜木東分団消防センター落成式を実施する。
3年 3月	大東第一分団に「救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車」が総務省消防庁より貸与される。
4年 3月	大東第五分団の消防ポンプ自動車の貸与・配属式を実施する。
4年 8月	掛川市消防団再編検討委員会を設置する。

令和５年度　掛川市消防団　組織図

（　）は実数　　［　］は定数

掛川市

団本部(23)［23］

団　長	1
副団長	6
本部長	16

ラッパ隊(1)［1］

隊長(専任)	1
隊員(兼任)	21

(各方面より2名ずつ兼任)

予防指導隊(11)［19］

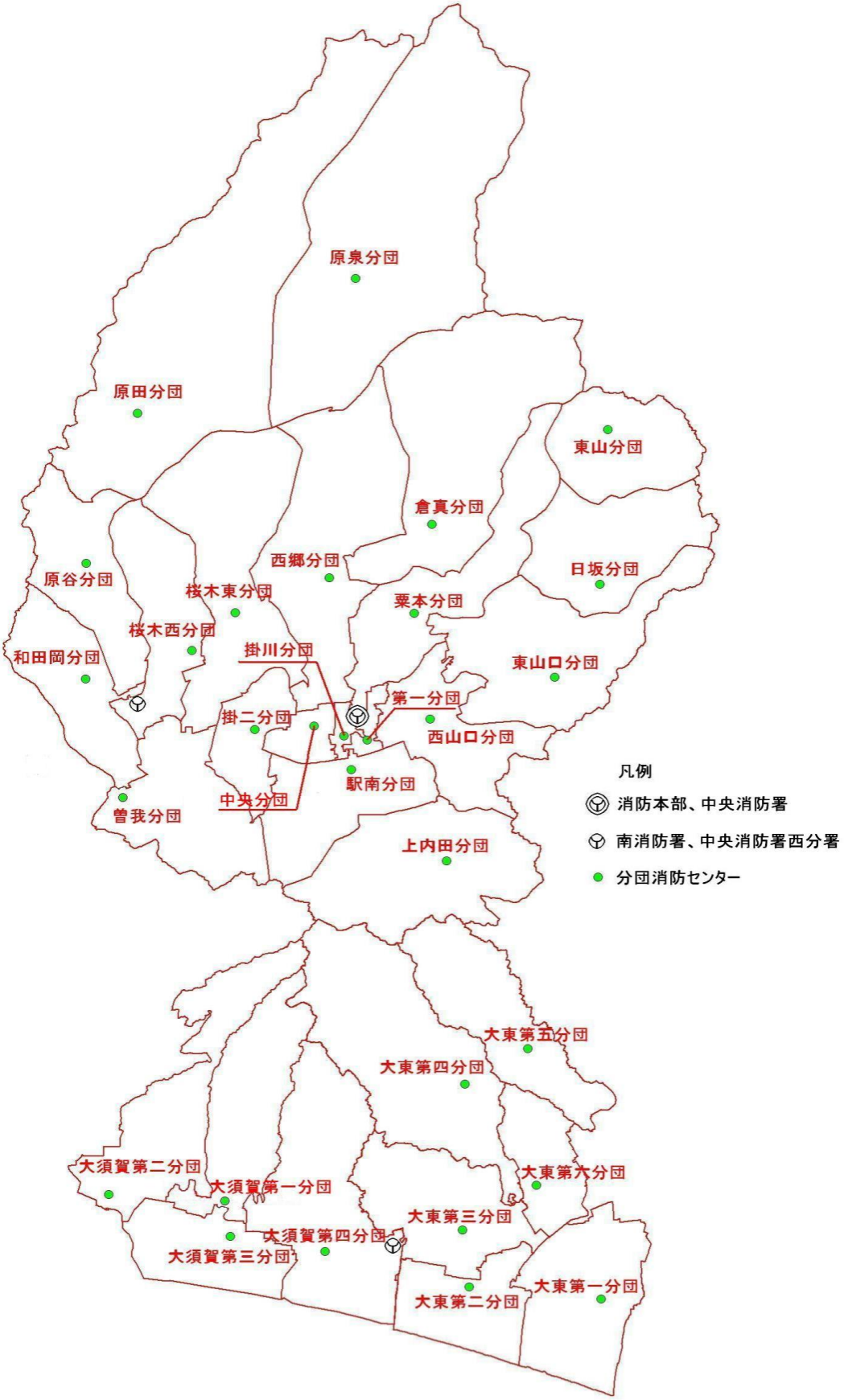
隊　長	1
副隊長	1
部　長	8
班　長	1
団　員	0

方面	分団	分団長	部長	副分団長	班長	機能別団員	団員	定数
第１方面 ####	第一分団 (25)	1	11	1	5	2	5	[23]
	西山口分団 (31)	1	18	1	5		6	[23]
	駅南分団 (19)	1	12	1	3		2	[23]
	上内田分団 (25)	1	5	1	8		10	[23]
第２方面 (66)	掛川分団 (20)	1	7	1	3	7	1	[23]
	中央分団 (25)	1	14	1	5		4	[23]
	掛二分団 (21)	1	6	1	9		4	[23]
第３方面 (64)	東山口分団 (22)	1	15	1	2	1	2	[23]
	日坂分団 (23)	1	13	1	6		2	[23]
	東山分団 (19)	1	14	1	1		2	[23]
第４方面 (69)	粟本分団 (22)	1	8	1	5		7	[23]
	西郷分団 (25)	1	6	1	8		9	[23]
	倉真分団 (22)	1	13	1	3		4	[23]
第５方面 (44)	原谷分団 (22)	1	12	1	3		5	[23]
	原田分団 (12)	1	8	1	1		1	[23]
	原泉分団 (10)	1	4	1	2		2	[23]
第６方面 (71)	曽我分団 (17)	1	9	1	3		3	[23]
	桜木東分団 (20)	1	12	1	2		4	[23]
	桜木西分団 (13)	1	5	1	3		3	[23]
	和田岡分団 (21)	1	12	1	5		2	[23]
第７方面 (78)	大東第一分団 (28)	1	6	1	10		10	[26]
	大東第二分団 (20)	1	10	1	4		4	[26]
	大東第三分団 (30)	1	8	1	10		10	[26]
第８方面 (71)	大東第四分団 (23)	1	8	1	9		4	[26]
	大東第五分団 (25)	1	9	1	9		5	[25]
	大東第六分団 (23)	1	17	1	3		1	[25]
第９方面 (60)	大須賀第一分団 (27)	1	15	1	8		2	[36]
	大須賀第二分団 (33)	1	10	1	14		7	[36]
第10方面 (57)	大須賀第三分団 (30)	1	18	1	7		3	[37]
	大須賀第四分団 (27)	1	11	1	9		5	[37]

定員　715 名

定数　803 名

消防団管轄区域図


原泉分団
原田分団
東山分団
倉真分団
西郷分団
日坂分団
原谷分団
桜木東分団
粟本分団
桜木西分団
掛川分団
和田岡分団
東山口分団
第一分団
掛二分団
西山口分団
駅南分団
中央分団
曽我分団
上内田分団
凡例
消防本部、中央消防署
南消防署、中央消防署西分署
分団消防センター
大東第五分団
大東第四分団
大須賀第二分団
大須賀第一分団
大東第六分団
大東第三分団
大須賀第四分団
大須賀第三分団
大東第一分団
大東第二分団

消防団員の状況

1　消防団員在職年数調べ

（令和５年４月１日現在）

年数 階級	総　数	５年未満	５年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合　　計	715	394	268	46	7			
団　　長	1				1			
副 団 長	6			4	2			
本 部 長	16		12	4				
分 団 長	32	5	24	3				
副分団長	31	11	19	1				
部　　長	326	80	212	30	4			
班　　長	164	164						
団　　員	139	134	1	4				

2　消防団員年齢調べ

（令和５年４月１日現在）

年齢 階級	総数	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳～ 50歳	51歳～
合　　計	715	4	96	278	266	52	13	4	2
団　　長	1						1		
副 団 長	6					5	1		
本 部 長	16			1	10	5			
分 団 長	32		1	4	25	2			
副分団長	31		2	10	16	2			1
部　　長	326		11	96	175	34	8	1	1
班　　長	164		34	94	36				
団　　員	139	4	48	73	4	4	3	3	

３　消防団員就業状況

（令和５年４月１日現在）

職業別＼階級別		合計	小計	団員	班長	部長	副分団長	分団長	本部長	副団長	団長
合計	自営	715	68	14	8	33	3	2	5	2	1
	勤務		647	124	157	293	28	30	11	4	0
農林業	自営	31	21	3	1	14	1	1	1		
	勤務		10	1		6	1	2			
建設業	自営	61	18	1	4	7	1		2	2	1
	勤務		43	12	10	15	1	1	3	1	
製造業	自営	380	7	2	1	3	1				
	勤務		373	65	99	172	11	18	6	2	
電気・ガス熱供給・水道業	自営	21	2	1					1		
	勤務		19	4	4	8	1	2			
卸・小売・飲食業	自営	23	6	2	1	3					
	勤務		17	2	6	7		2			
金融・保険	自営	13	0								
	勤務		13	1	4	4	4				
運輸・通信	自営	18	3	1		1		1			
	勤務		15	5	1	7		1		1	
サービス業	自営	78	7	2		4			1		
	勤務		71	16	12	38	3	2			
公務員		61	61	14	15	25	5	1	1		
その他	自営	29	4	2	1	1					
	勤務		25	4	6	11	2	1	1		

４　消防団員勤務地調べ

（令和５年４月１日現在）

所属／勤務地		団本部	第１方面				第２方面			第３方面		
			第一分団	西山口分団	駅南分団	上内田分団	掛川分団	中央分団	掛二分団	東山口分団	日坂分団	東山分団
計		35	25	31	19	25	20	25	21	22	23	19
自営		7	4	3	5		7			4	3	9
勤務	市内	20	12	15	9	12	7	11	11	10	12	4
	市外	8	9	13	5	13	6	14	10	8	8	6

所属／勤務地		第４方面			第５方面			第６方面			
		粟本分団	西郷分団	倉真分団	原谷分団	原田分団	原泉分団	曽我分団	桜木東分団	桜木西分団	和田岡分団
計		22	25	22	22	12	10	17	20	13	21
自営			4		1	1			1		2
勤務	市内	15	10	17	11	7	5	9	9	12	7
	市外	7	11	5	10	4	5	8	10	1	12

所属／勤務地		第７方面			第８方面			第９方面		第10方面		計	
		大東第一分団	大東第二分団	大東第三分団	大東第四分団	大東第五分団	大東第六分団	大須賀第一分団	大須賀第二分団	大須賀第三分団	大須賀第四分団	人数	構成率（％）
計		28	20	30	23	25	23	27	33	30	27	715	
自営		3		2		1	3		1	3	3	67	9.4%
勤務	市内	13	15	14	13	16	10	13	15	13	12	359	50.2%
	市外	12	5	14	10	8	10	14	17	14	12	289	40.4%

５　過去３年の公務災害発生状況

区分／年度	計	火　災	風水害	訓　練	その他
令和２年度					
令和３年度					
令和４年度					

分団消防センター

（令和５年４月１日現在）

分団名	所在地	建物構造				建築年月	ホースタワー	ﾎｰｽﾀﾜｰ設置年月
		構　造	屋　根	外　壁	面積(㎡)			
第一	仁藤町15-1	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	85.00	H8.11	電動式	H18.3
西山口	成滝110-1	鉄骨２階	折　板	サイディング	86.10	H1.1	電動式	H16.3
駅南	久保二丁目3-15	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	90.00	H15.3	電動式	H15.3
上内田	板沢92	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	85.00	H12.3	電動式	H17.3
掛川	城下6-11	鉄骨２階	日　本　瓦	サイディング	96.00	H5.3	電動式	H5.3
中央	城西一丁目11-15	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	101.84	H22.3	電動式	H22.3
掛二	大池441-1	鉄骨２階	折　板	角波トタン	85.71	S62.12	電動式	H24.12
東山口	伊達方104	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	98.28	H23.9	電動式	H23.9
日坂	日坂890-1	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	90.00	H17.2	電動式	H17.2
東山	東山1175-1	鉄骨２階	折　板	サイディング	72.40	H2.3	手動式	H2.3
粟本	初馬2046-1	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	85.00	H9.2	電動式	H18.3
西郷	上西郷2574-1	鉄骨平屋	折　板	サイディング	71.08	H1.1	手動式	H1.2
倉真	倉真3803	鉄骨２階	折　板	サイディング	72.40	H1.1	電動式	H24.1
原谷	本郷1414-9	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	90.00	H15.12	電動式	H15.12
原田	原里1269-2	鉄骨平屋	折　板	角波トタン	75.79	S59.8	電動式	H23.3
原泉	萩間442	木造平屋	ｶﾗｰﾍﾞｽﾄ	ｽﾚｰﾄﾎﾞｰﾄﾞ	56.00	S61.12	手動式	S62.1
曽我	各和1647-5	鉄骨２階	折　板	サイディング	72.40	H2.2	手動式	H2.3
桜木東	下垂木500-15	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	金属サンドイッチパネル	98.28	R1.12	電動式	R1.12
桜木西	家代121-2	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	金属サンドイッチパネル	98.28	H30.12	電動式	H30.12
和田岡	吉岡268	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	85.00	H13.3	電動式	H17.3
大東第一	千浜4530-1	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H4.3	電動式	H20.2
大東第二	浜野1824	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H4.1	電動式	H20.2
大東第三	大坂2714-3	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H3.3	電動式	H21.2
大東第四	上土方30-1	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H3.3	電動式	H21.2
大東第五	中方366-2	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H4.1	電動式	H20.2
大東第六	中3891-7	鉄骨２階	折　板	サイディング	70.00	H4.3	電動式	H20.2
大須賀第一	西大渕51-3	鉄骨２階	日　本　瓦	サイディング	82.00	H4.3	電動式	H4.3
大須賀第二	山崎111-1	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	100.96	H29.3	電動式	H29.3
大須賀第三	西大渕397	鉄骨２階	日　本　瓦	サイディング	84.00	H8.3	手動式	
大須賀第四	大渕5549-2	鉄骨２階	ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	中空押出し成形ｾﾒﾝﾄ板	97.20	H19.2	電動式	H19.2

車両及び可搬ポンプの保有状況

（令和５年４月１日現在）

分団	指令車･消防ポンプ自動車						小型動力ポンプ				
	種別	登録番号	車名	級別	購入年月	経過年数	配置場所	名称型式	級別	購入年月	経過年数
団本部１	指令	浜松800 す13-01	トヨタ	―	H19.11	15					
団本部２	指令	浜松800 す67-25	トヨタ	―	H28.12	6					
団本部３	指令	浜松880 あ11-99	ニッサン	―	H30.12	4					
第一	ＣＤ－１	浜松800 す47-59	いすゞ	Ａ－２	H25.2	10	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H25.2.1	10
西山口	ＣＤ－１	浜松800 さ84-35	日野	Ａ－２	H16.10	18	車載	シバウラ TF15	Ｃ－１	H5.12.1	29
駅南	ＣＤ－１	浜松800 す67-02	いすゞ	Ａ－２	H28.11	6	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H28.11.1	6
上内田	ＣＤ－１	浜松800 す67-03	いすゞ	Ａ－２	H28.11	6	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H28.11.1	6
掛川	水Ｉ－Ａ	浜松800 す15-16	日野	Ａ－２	H20.2	15	車載	ラビット P455DAN	Ｂ－３	H20.2.1	15
中央	ＣＤ－１	浜松800 す5-07	いすゞ	Ａ－２	H18.11	16	車載	トーハツ V56AS	Ｂ－３	H5.12.1	29
掛二	ＣＤ－１	浜松800 さ84-36	日野	Ａ－２	H16.10	18	車載	ラビット P408R	Ｂ－３	H6.7.1	28
東山口	ＣＤ－１	浜松800 す53-30	いすゞ	Ａ－２	H26.2	9	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H26.3.1	9
日坂	ＣＤ－１	浜松800 す29-61	いすゞ	Ａ－２	H22.2	13	車載	ラビット P408R	Ｂ－３	H22.2.1	13
東山	ＣＤ－１	浜松800 さ75-47	日野	Ａ－２	H15.12	19	車載	ラビット P408R	Ｂ－３	H6.7.1	28
							小鮒川	シバウラ TF15	Ｃ－１	H5.12.1	29
粟本	ＣＤ－１	浜松800 さ75-46	日野	Ａ－２	H15.12	19	車載	トーハツ VS53AS	Ｂ－３	H27.3.1	8
							西山	ラビット P403	Ｂ－３	S62.1.1	36
西郷	ＣＤ－１	浜松800 す56-97	いすゞ	Ａ－２	H26.12	8	車載	トーハツ VF21BS	Ｃ－１	H28.2.1	7
倉真	ＣＤ－１	浜松800 す73-95	いすゞ	Ａ－２	H30.2	5	車載	トーハツ VS53AS	Ｂ－３	H30.2.1	5
							松葉	シバウラ TF15	Ｃ－１	H5.12.1	29
原谷	ＣＤ－１	浜松800 す35-08	いすゞ	Ａ－２	H23.2	12	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H23.2.1	12
原田	ＣＤ－１	浜松800 さ55-98	日野	Ａ－２	H14.2	21	車載	トーハツ V56A	Ｂ－３	H5.12.1	29
							田代	シバウラ TF15	Ｃ－１	H5.12.1	29

原泉	ＣＤ－１	浜松800 す29-62	いすゞ	Ａ－２	H22.2	13	車載	ラビット P408R	Ｂ－３	H22.2	13
							居尻	トーハツ V38C	Ｂ－３	S61.1	37
							孕石	トーハツ VC62PRO	Ｂ－３	H17.9	17
							泉	シバウラ SF655	Ｂ－２	H5.12	29
曽我	ＣＤ－１	浜松800 す22-92	いすゞ	Ａ－２	H21.2	14	車載	ラビット P456	Ｂ－３	H21.2	14
桜木東	ＣＤ－１	浜松800 す35-09	いすゞ	Ａ－２	H23.2	12	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H23.2	12
桜木西	ＣＤ－１	浜松800 す22-93	いすゞ	Ａ－２	H21.2	14	車載	ラビット P456	Ｂ－３	H21.2	14
							知連	トーハツ V38C	Ｂ－３	S61.1	37
和田岡	ＣＤ－１	浜松800 さ43-84	いすゞ	Ａ－２	H13.3	22	車載	シバウラ TF15	Ｃ－１	H6.7	28
大東第一	ＣＤ－１	浜松800 す91-96	いすゞ	Ａ－２	R3.3	2	車載	トーハツ VF21BS	Ｃ－１	R3.3	2
大東第二	ＣＤ－１	浜松800 す57-65	いすゞ	Ａ－２	H27.2	8	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H27.2	8
大東第三	ＣＤ－１	浜松800 さ84-82	いすゞ	Ａ－２	H16.11	18	車載	シバウラ TF745MH	Ｂ－２	H16.11	18
大東第四	ＣＤ－１	浜松800 さ72-97	いすゞ	Ａ－２	H15.9	19	車載	シバウラ SF756MZ	Ｂ－２	H15.9	19
大東第五	ＣＤ－１	浜松800 す97-41	いすゞ	Ａ－２	R4.2	1	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	R4.2	1
大東第六	ＣＤ－１	浜松800 さ97-07	いすゞ	Ａ－２	H18.2	17	車載	シバウラ SF656Z	Ｂ－３	H18.2	17
大須賀第一	ＣＤ－１	浜松800 さ75-77	いすゞ	Ａ－２	H15.12	19	車載	トーハツ VC62AS	Ｂ－３	H15.12	19
大須賀第二	ＣＤ－１	浜松800 さ66-43	いすゞ	Ａ－２	H15.2	20	車載	トーハツ VC62PRO	Ｂ－３	H15.2	20
大須賀第三	ＣＤ－１	浜松800 す62-91	いすゞ	Ａ－２	H28.2	7	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H28.2	7
大須賀第四	ＣＤ－１	浜松800 さ79-64	トヨタ	Ａ－２	H31.2	4	車載	トーハツ VF53AS	Ｂ－３	H31.2	4

令和４年版

消　防　年　報

令和５年４月発行

編集・発行　掛川市消防本部
〒436-0079　静岡県掛川市掛川1102番地の2
TEL (0537)21-6101
FAX (0537)21-6130
E-mail:syobo@city.kakegawa.shizuoka.jp